

弓道部とちぎ国体で全国3位に輝く。

文責 学校長



～大型台風九州を縦断。模試も新人戦も中止・延期となりました。～

先週末から大型台風14号が九州を縦断し、各地に大きな被害をもたらしました。連休中に予定されていた模擬試験や新人戦も順延となりました。各ご家庭では台風の被害はありませんでしたか。

1 とちぎ国体弓道競技少年女子の部で全国3位に輝きました。

9月10日(土)から開催されていた第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体2022」の弓道競技少年女子団体・近的の部で国体メンバーに選ばれていた本校弓道部の橋口嘉乃さん(3-2)、野中理加さん(1-1)、古賀由夏さん(1-6)のチームが、12日(月)に、岩手との3位決定戦を接戦の末に制し、第3位に輝きました。11日(日)の遠的の部8位に続く入賞で、最後は28メートル先の的を全員が射抜き、表彰台を勝ち取りました。前日の遠的が8位に終わり「このままでは佐賀に帰れない」と気迫を見せ、高い集中力で矢を放ち、雪辱を晴らして掴んだ3位の結果に、メンバーは最高の笑顔とともに母校に戻ってきました。



2 新人戦・県総文祭が開幕しました。陸上・走り高跳びで男女第2位に。

先週末から県の新人大会が開幕しました。17日(土)に開幕した「佐賀県高校新人陸上大会」において、男子走り高跳びで古賀孝太郎くん(2-6)が第2位に、女子走り高跳びで乗原椿さん(2-2)が第2位に輝き、九州大会への切符を手に入れました。18日(日)に予定されていた競技は台風接近のため、順延されました。また、「佐賀県高等学校総合文化祭」も17日(土)から各部門ごとに開催されます。美術・書道・写真展は11月1日(火)から6日(日)に県立美術館・博物館で開催される予定です。なお、各専門部の開催日程についての詳細は佐賀県高文連のHPでご確認ください。



3 今週の名言・・・松下幸之助の言葉です。

才能なきことを憂う必要はないが、熱意なきことをおそれなくてはならない。

【解説】先週紹介した稲盛和夫氏同様、日本の高度経済成長を支えた一人、松下電器創業者・松下幸之助氏の言葉です。丁稚から自らの才覚で一大家電メーカーを作り上げた松下氏ですが、松下氏の名言を見ていると、夢に対して熱い気持ちを持ち、何度失敗しても諦めず立ち上がり、努力を重ねて目標を目指すという人柄が窺えます。物事を成し遂げる時に、能力や才能よりも熱意や努力の方が数段重要であるということ、松下氏の人生が物語ってくれています。君たちはどうでしょうか。才能とは生まれ持って備わっているものというよりも、どんな分野でも熱意を持って取り組み続けることから備わってくるものではないでしょうか。自分の成績を嘆いている暇があれば、まず机に向かおう。



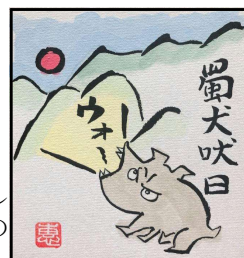
【松下幸之助について】日本の実業家、発明家、著述家。パナソニック(旧社名:松下電器器具製作所、松下電器製作所など)を一代で築き上げた経営者である。異名は「経営の神様」。その他、PHP研究所を設立して倫理教育や出版活動に乗り出した。さらに晩年は松下政経塾を立ち上げ、政治家の育成にも情熱を注いだ。(参考:「Wikipedia」より)

4 今週のお話成語・・・「蜀犬日に吠ゆ」

無知なためあたりまえのことをも怪しむこと、また、識見の狭い人が、他の人の非凡な言行に対して疑いを抱くこと。

(出典:柳宗元の「答韋中立論師道書」より)

【由来】《蜀は山地で雨の降ることが多く、太陽の出ている時間は少ないので、日が出ると犬が怪しんで吠えるという柳宗元の「答韋中立論師道書」によることわざから》無知のために、あたりまえのことに疑いを抱くたとえ。見識の狭い人が賢人のすぐれた言行を疑い、非難するたとえ。



5 入試によく出る漢字(その48)・・・センターテスト(1992年度本・追試験)に挑戦!

- 【本試験】
- (1) この不可逆性に [トウ] メンして初めて、・・・ [到・当・答・統・等]
 - (2) 取り [カエ] しのつかないことから・・・ [交・換・替・帰・返]
 - (3) 事物の運動やセイ [セイ]・消滅など、・・・ [勢・精・成・製・生]
 - (4) 誰もが [ソク] トウを用意しているわけでは・・・ [即・促・速・則・測]
 - (5) 時間を [カイ] さずに変化を考えると・・・ [解・改・介・会・回]
- 【追試験】
- (1) それが適切に [フ] チされるかどうかで、・・・ [布・付・扶・普・浮]
 - (2) [イ] ロウなく展開されるかいなが・・・ [異・慰・違・遺・位]
 - (3) ということは容易にスイ [テイ] される。・・・ [提・底・定・程・体]
 - (4) 緊密さによって [サ] けようとする。・・・ [割・排・裂・退・避]
 - (5) 内的にしかもキ [ハン] の形で、・・・ [反・範・版・般・判]

6 今週の一冊・・・伊集院静の『ミチクサ先生』(下巻) (講談社) です。

皆が読みたい小説を書いてほしいんです! 「こんなに美しい富士山と海を、どんな文章でお書きになるのか、読んでみとうございます」鏡子の言葉は、金之助の胸の奥を揺り動かした。英語教師として松山で子規と過ごした金之助は、次に赴任した熊本では鏡子を迎えて新婚生活が始まる。英国に留学している間に子規は亡くなり、帰国すると帝国大学の教師に。高浜虚子から子規ゆかりの句誌「ホトギス」に小説を書いてほしいと頼まれ、初めて書いた小説「吾輩は猫である」が大評判に。やがて東京朝日新聞の社員として連載した数々の小説で国民作家となり、後進の文学者たちにも多大な影響を与える――。処女作「吾輩は猫である」がいきなり評判となり、「坊ちゃん」で国民作家に。『機関車先生』『いぬむり先生』に続く「先生」シリーズ第三弾! (参考: 本書裏表紙説明より)



【解説】前号で紹介した本の下巻です。愛媛の松山での教員生活(小説「坊ちゃん」の舞台)の後、熊本へ赴任する(小説「道草」の舞台)青年教師時代、そして英国留学を経て、東京帝国大学の講師になるも、学生たちの不勉強ぶりに次第に嫌気がさし、神経衰弱を患う。その療養を兼ねて執筆活動に入る。そして処女作『吾輩は猫である』を出版。その後、胃潰瘍の病気を患いながらも精力的に執筆活動に没入し前期三部作(『三四郎』・『それから』・『門』)、後期三部作(『彼岸過迄』・『行人』・『こころ』)の執筆と精力的に作家活動に入っていき、漱石であったがそれは同時に自らの命を削っていくことになっていく。自らの命の炎が消えそうになっていく中でも数多くの作品を執筆していく壮絶な漱石の生涯が見事な伊集院ワールドとして描かれていきます。漱石の作品を読み返してみたい、そんな一冊です。

【作者・伊集院静について】前号(22号)参照。

7 世界遺産を巡る・・・第73回はフォンテーヌブローの宮殿と庭園(フランス) (登録: 1981年)

【解説】フランスの首都パリ南東、セヌ＝エ＝マルヌ県に位置する、世界遺産「フォンテーヌブローの宮殿と庭園」は、**フランスで最も大きな宮殿**です。フォンテーヌブローの森はもともと**王の狩猟場**として利用された広大な森。その森にあった質素な館を16世紀にヴァロワ朝フランスワ1世が基本的な建築構図がうちたて、「新しいローマ」の建設を目指してイタリアから数々の芸術家を招聘し、歴代フランス国王たちにより**ルネサンス様式**の豪華な宮殿へと改築していきました。宮殿とともに世界遺産に登録されているフォンテーヌブロー庭園には**ルネサンス庭園**と**英国式庭園**があります。**ルネサンス庭園**は、16世紀にフランスワ1世とアンリ4世によって整備されました。幾何学模様が図案化された花壇は、ここで初めて造られたそうです。**英国式庭園**は**ナポレオン1世**によって現在の形に整えられました。庭園の中央にはディアンの噴水があり、この庭園はディアンの庭園と呼ばれています。フォンテーヌブローの美しさは、洗練された細かな彫刻の意匠にあります。この新しいスタイルは後にヨーロッパ中に波及して、**パリが「芸術の都」と呼ばれるきっかけ**となったのです。(参考: 「世界遺産人気ランキング」より)



8 街角グルメを訪ねて・・・第73回は佐賀市の「カツカレーの虎」です。

今年7月にオープンした「ハンバーグマン 佐賀南店」店主の那須正幸さんが新たに開いたカツカレー専門店「カツカレーの虎」をご紹介します。「カツカレーだけを提供する店としては、おそらく佐賀で初めてで、全国的にも珍しいのではないかとのこと。席数はカウンター10席。メニューは「**虎のカツカレー**」(1,000円)のみ。牛スジを焼き、赤ワインで煮詰め、時間をかけてじっくり煮込んだカレールーに、特大豚カツを合わせる。ご飯350グラム、カレールー350グラム、豚カツ200グラム、ナポリタン100グラム、キャベツ60グラムで**合計1キロ超**。全て追加料金で増量でき、850円増しで合計約1.8キロの「全部増し」もできます。那須さんは「カツカレーはもちろん、付け合わせのキャベツにかけるドレッシングにもこだわった。レギュラーサイズで物足りない人にはぜひ、『全部増し』も楽しんでほしい」とのこと。この日は「虎のカツカレー」を注文。営業時間は11時～22時。住所は、佐賀市諸富町大字山領821-3です。駐車スペースも狭く、駐車するのに若干苦勞するかも。ピーク時を避けた方がよさそうです。次週は姉妹店「吾輩は虎である」を紹介する予定です。



9 保護者の皆様へ・・・危険なスマホ運転であわや死亡事故になるところでした。

一般の方から、本校生徒の危険な自転車運転に対しての訴えがありました。11日(日)の体育祭終了後の夕方6時ごろ武雄市図書館から駅方面に向かう最初の大きな交差点の横断歩道を赤信号なのにスマホに気を取られて信号を確認しないままに渡っていた生徒がいて、そのまま赤信号の中を知らん顔して去っていったそうです。運転していた方は、死亡事故につながりかねない危険な状況に遭遇し、今でも恐怖が収まらないそうです。お宅のお子さんの所業ではないか、ご家庭で注意喚起していただきますようお願いいたします。スマホ運転・赤信号での通過は当然道路交通違反です。

【正解】【本試験】(1) 当面 (2) 取り返し (3) 生成 (4) 即答 (5) 介さず
【追試験】(1) 布置 (2) 遺漏 (3) 推定 (4) 避け (5) 規(軌)範